

「香煎茶の肥満改善効果の検討（二重盲検比較試験）」

添付資料3 測定対象とする心血管バイオマーカー

測定対象とする生理活性物質と説明

レプチン	脂肪から分泌される蛋白で、食欲や肥満に関連します。
アディポネクチン	脂肪から分泌される蛋白で、動脈硬化を防ぐ作用があります。
TNF α	脂肪細胞や炎症細胞から放出される蛋白で、動脈硬化に関連します。
PAI-1	血管壁内皮細胞および肝臓から放出される蛋白。動脈硬化の進展に関与。
MCP-1	炎症に関連する細胞から放出される蛋白で、動脈硬化の発症と進展に関与。
VCAM-1, ICAM-1	血管内で白血球と内皮細胞をくっつける分子で、動脈硬化に関与します。
エンケファリン	脳内に存在する麻薬に似た物質で、メタボリックシンドロームに関連。
セロトニン	心のバランスを整える神経伝達物質で、メタボリックシンドロームに関連。
酸化ストレス指標	8-OHdG, 8-iso-PGF2 α など。生活習慣病において動脈硬化の進展と関連。
酸化 LDL	SAA-LDL 複合体, AT-LDL 複合体など。変性悪玉コレステロール。
可溶性 LOX-1	レクチン様酸化 LDL 受容体。変性 LDL に結合して動脈硬化や炎症に関連。
LAB	LOX-1 に結合して動脈硬化に関与します。
Lp-PLA2	炎症を引き起こす酵素で、動脈硬化に関与します。
sdLDL	小さいリポ蛋白で、動脈硬化を引き起こしやすい性質を持ちます。